

## 令和2年度小国町商工会経営発達支援計画事業評価検討委員会議事録

- 1 開催日時 令和3年3月30日（火）午後1時00分～午後1時50分
- 2 開催場所 小国町大字小国町163 小国町商工会研修室
- 3 出席者数 8名（委員3名、商工会5名）
- 4 出席者名 外部有識者  
・小国町産業振興課長 磯部俊二氏  
・山形銀行小国支店長 長沢伸一氏  
・山形中央信用組合小国支店長 竹田 淳氏  
小国町商工会  
・会長 伊藤通芳  
・副会長 鈴木正昭  
・副会長 木下三千男  
・事務局長 後藤和人  
・商工振興課長 佐藤勝則
- 5 議事進行 佐藤課長
- 6 議事の経過と結果

定刻に至り、佐藤課長が令和2年度経営発達支援計画事業評価検討委員会の開会を告げた後、伊藤会長が挨拶を述べた。

次に、佐藤課長は、座長に磯部委員長を指名し協議に入った。

### ■協議事項1 令和2年度経営発達支援計画事業の経過報告について

磯部委員長は、協議事項1について事務局の説明を求め、佐藤課長が事業評価書に基づいて説明した。

### ■協議事項2 各事業の評価について

磯部委員長は、今年度の取り組みについて事業項目ごとに質疑を求めた。各委員からの評価は次の通りである。

#### <事業項目1 地域の経済動向調査>

長沢委員からコロナ影響調査の分析状況について質問があり、後藤事務局長は、分析結果を次の通り説明した。

8月には222件の会員事業所に調査依頼して68件の回答があり、1月には47件の自慢の逸品登録事業者に調査依頼して34件の回答があった。特に、飲食業や宿泊業で顕著な影響がみられ関連業種にも影響している部分を説明した。また、消費税増税や暖冬少雪影響を抱えながらコロナ影響が加わったことで更に悪化している状況から、今後、更に分析しながら検討していきたいと補足した。これに対して磯部委員長は、商工会のコロナ影響分析データをもって町のコロナ施策に活かされたため有効であったと述べた。

竹田委員は、コロナ影響の中で調査実績を評価する。分析結果を次年度に活かしてほしいと述べ、理解を得た。

次に、磯部委員長から情報提供における会報の号外内容について質問があり、佐藤課長は、四半期ごとの会報にコロナ施策情報を掲載して情報提供を行ったほか、7月と1月にもコロナ施策情報を取りまとめ号外として情報提供に努めたと説明し、理解を得た。

#### <事業項目2 経営状況の分析>

竹田委員から経営分析や計画策定を行った支援先をお聞きし経営支援の連携を図りたいと意見が出され、佐藤課長は、創業者については業種で紹介し、経営革新塾に青年部員の事業所を参加させた支援経過等を説明し、全体的には個別情報の観点から事業者の動向に応じて連携させていただきたいと答弁し、理解を得た。

<事業項目3 事業計画策定支援>

長沢委員から事業承継支援の実績がなかった点について、国の事業承継対策が重点化されていることもあり積極的な支援が必要であると意見が出され、佐藤課長は、今年度具体的な相談案件がなかったが、小規模事業者の実態を概ね把握している中で、今後の対応が見込まれることと、山形県事業引継ぎセンターと連携して事業承継診断の取次や専門家派遣等に結び付けていきたいと答弁し、理解を得た。

次に、磯部委員長から事業計画策定支援件数が目標に対して大幅な実績となっており、その要因について質問があったため、佐藤課長は、コロナ影響で相談機会が多かったこともあり、経営分析や事業計画策定につながった結果であると答弁し、理解を得た。

<事業項目4 事業計画策定後の支援>

磯部委員長から目標数値と実績数値との整合性について質問があり、佐藤課長は、昨年指摘を受けた部分であり、目標の一事業者あたり平均4回といった抽象的な部分に対し、具体的なフォロー回数をカウントして実績に反映したと答弁し、理解を得た。

<事業項目5 需要動向調査>

特に意見はなく、道の駅利用者アンケート、及び、逸品事業効果検証アンケートの取り組み実績に対し評価を得た。

<事業項目6 新たな需要開拓>

長沢委員からコロナ影響で各種商談会が取りやめになる中、にいがたフードメッセへの出展支援を評価すると述べ、合わせて成約があった詳細について質問があったため、佐藤課長は、雑穀と精肉業者に成約があったものの継続取引には至ってないと答弁し、商談会の難しさを課題提起いただいた。また、ホームページ作成支援を通して取引増加につなげた実績とその手法について質問があり、佐藤課長は、持続化補助金等を活用して販売促進につなげていると答弁し、理解を得た。

磯部委員長から持続化補助金のSNS活用について質問があり、佐藤課長は、持続化補助金で販路開拓に資するSNSの活用は有効である。ただし、小規模事業者の地道な販売促進手法に合せて支援していると答弁し、理解を得た。

<事業項目7 地域活性化の取り組み>

長沢委員から小国町のブランド化、小国町地域総合商社の取り組みに協力、連携させていただきたいと発言があった。

竹田委員から小国町地域総合商社のプロジェクトに期待しているため、単発にならないことを願っていると発言があった。

磯部委員長から小国町地域総合商社には町も支援しているので、より一層の協力体制でやっていきたいと発言があった。

佐藤課長は、この度、小国町地域総合商社が全国商工会連合会の共同協業販路開拓新事業補助金に申請し採択となった経過を報告し、連携機関体制のもと個社のレベルアップと地域特産品の流通拡大につなげていきたいと答弁し、理解を得た。

<事業項目8 支援力向上の取り組み>

長沢委員から経営支援事例発表会で西置賜チームが3度目の最優秀賞に輝いた実績を評価すると発言があった。

磯部委員長から事例発表の取り組み方について質問があり、佐藤課長は、西置賜ブロックで支援企業を選定し、現場視察から財務分析、課題提起、成果の落とし込みまで一貫したサポートを実施している。指導ノウハウの共有とスキルアップを目的にチーム連携が図られ自信につながっていると答弁し、好評価を得た。

磯部委員長は、すべての評価が終了したことを告げ、午後1時50分に閉会した。